

2004年度 中文科専任教員研究活動記録

植田渥雄

〈学会発表〉

- 『老子』に見る自然観とその現代的意義
第6回桜美林大学・北京大学学術交流会 2005年2月

〈講座・講演等〉

- 漢詩の鑑賞と味わい方 桜美林大学オープンカレッジ 2004年5月
- 中国古典詩のころ 相模原市民大学講義
 - 漢詩とは—その形式と味わい方 2004年10月
 - 中国最古の詩—詩経と楚辞・楚歌 2004年10月
 - 唐代の詩Ⅰ（近体詩）—杜甫・李白等 2004年10月
 - 唐代の詩Ⅱ（古詩）—古詩の世界 2004年10月
 - 詩と音楽Ⅰ—唐宋詩とその世界 2004年11月
 - 詩と音楽Ⅱ—元曲とその音楽 2004年11月

野村敏夫

〈著書〉

- 国語施策百年史（共著） ぎょうせい 2005年3月

〈論文〉

- 戦後国語施策の歩み²² 嵐の後の船出—国語施策の見直しへ
『月刊国語教育』第24巻第1号 2004年4月
- 戦後国語施策の歩み²³ 第7期国語審議会と吉田提案
『月刊国語教育』第24巻第2号 2004年5月
- 戦後国語施策の歩み²⁴ 文相、「国語の表記は漢字仮名交じり文」を確認
『月刊国語教育』第24巻第4号 2004年6月
- 戦後国語施策の歩み²⁵ 新たな表記基準の策定に向けて—昭和41年文部大臣諮問とその前後
『月刊国語教育』第24巻第5号 2004年7月
- 戦後国語施策の歩み²⁶ 答申「当用漢字改定音訓表」
『月刊国語教育』第24巻第6号 2004年8月
- 戦後国語施策の歩み²⁷ 答申「改定送り仮名の付け方」
『月刊国語教育』第24巻第7号 2004年9月

- 戦後国語施策の歩み⑳ 建議「国語の教育の振興について」
『月刊国語教育』第24巻第8号 2004年10月
- 戦後国語施策の歩み㉑ 新漢字表試案から常用漢字表案へ—第11期～第13期国語審議会—『月刊国語教育』第24巻第9号 2004年11月
- 戦後国語施策の歩み㉒ 常用漢字表の答申と実施—「制限」から「目安」の時代へ—『月刊国語教育』第24巻第10号 2004年12月
- 戦後国語施策の歩み㉓ 「現代かなづかい」から「現代仮名遣い」へ
『月刊国語教育』第24巻第11号 2005年1月
- 戦後国語施策の歩み㉔ 『外来語の表記』の制定—戦後国語改革見直しの完了—『月刊国語教育』第24巻第12号 2005年2月
- 戦後国語施策の歩み㉕ 現代の国語をめぐる諸問題の見渡し—国語審議会最後の10年の始まり—『月刊国語教育』第24巻第13号 2005年3月
- 21世紀初頭日本の国家政策における国語教育像—二元的構造下における探究の現状と課題—『桜美林言語教育論叢』第1号 2005年3月

〈口頭発表〉

- 日本語、日本人、日本にとっての漢字 日本言語政策学会研究会
2005年3月

楊 光俊

〈論文〉

- 桜美林大学公共汉语教学的目标与教学体系
『桜美林言語教育論叢』第1号 2005年3月